

大阪現代舞台芸術協会会報

第十七号

特集一 七年 DIVE活動報告

二 七年、DIVEでは精華演劇祭をはじめ、シンポジウムやワークショップなど、さまざまな活動を行って参りました。すっかり恒例となった阪大ワークショップや昨年ご好評頂いた「演技演出ワークショップ」の第二弾、秋に行った短期ワークショップなど、第十七号の会報では、今年DIVEが企画開催しましたワークショップの活動報告をさせて頂きたいと考えております。

二 七年の主な活動一覧

- ソーシャルワーカー向けワークショップ(一) 七年八月)
- 阪大ワークショップ(一) 七年十月～二 八年一月)
- 短期ワークショップ(一) 七年十月)
- 演技演出ワークショップ 二 八(一) 八年一月)

DIVEでは広く演劇環境の整備、演劇活動の普及に務め、長期的な視野でもって文化力を高める活動に従事すべく、さまざまな企画を開催しております。これらのワークショップ事業はその一環であり、演劇による自己表現、自己実現を目指す若者を育成を目指します。また、ワークショップとしては取り上げられることの少ない分野 制作、ワークショップ講師などの向上を図る事で若手のポトムアップを計ります。

目次

阪大ワークショップのご報告	p.2
短期ワークショップのご報告	p.3~4
DIVE 演技・演出ワークショップのご報告	p.5
参加者の言葉	p.6
会員一覧	p.7
編集後記	p.8

阪大ワークショップのご報告

DIVEの事業として恒例になりました大阪大学での授業ワークショップですが、今年度もDIVEにご依頼を頂き、講師を派遣する運びとなりました。

今年は学校側からの要望により、一人の講師が連続して複数回の授業を行うこととなり、各講師それぞれにより幅広く授業内容を展開することができました。

今年度はDIVE加盟劇団からの公募により、理事長の深津篤史氏(桃園会)、棚瀬美幸氏(南船北馬)、伊藤拓氏(France | pa)、高橋恵(虚空旅団)の計四名が派遣されることとなりました。

昨年は大講堂にて受講生五十名を超す大人数の講義でしたが、今年度は受講生も三十名程度と、実技を行いやすい人数となり、講師との距離感も近く、リラックスした雰囲気の中で行うことができました。

授業内容としては、発声を中心に教師に必要な表現力を学んで頂くことと各講師がそれぞれにカリキュラムを構成し、筆者の場合はゲームを中心にコミュニケーションを重視した実技を行

いました。

始めは名前を呼ばれても声を出して返事をしない生徒さん達が、授業が終わる頃には一人対複数の人に対して伝えようという意識で表現し、周囲の人が耳を傾ける姿にとっても嬉しくなりました。

私自身も得るものが多く、大変貴重な経験をさせて頂きました。またこのような機会をいただけるのであれば、是非参加させて頂き、受講生と共に成長してゆきたいと考えています。

高橋恵(虚空旅団)

阪大ワークショップData

* 期間 一 七年十月〜二 八年一月

毎週一回、全十二回(各講師三回ずつ担当)

各授業は毎講義九十分

* 派遣先 大阪大学 教育学部

* 内容 演劇の手法を利用し、教職課程を履修している学生たちに、将来教壇に立ち、授業を行う際に必要と思われる表現力をするためワークショップ形式にて授業を行う。

短期ワークショップの「報告」

二 七年十月、若手劇団(旗揚げ5年未満程度)の実力意識アップを図り、活動の指針へのヒントを与える機会としてDIVE短期ワークショップを開催しました。

『一流講師によるワークショップ』として、「舞台製作編」、「制作編」、「WSのためのWS」という三種の講座が行われました。

各講座一覧は次の通りです。

- * 演出脳「キタモトマサヤ(遊劇体)ノ十月一日
- * 情報発信の「ツ」畑律江(毎日新聞記者)ノ十月二日
- * 少年王者館ができるまで「天野天街(少年王者館)」ノ十月三日
- * 「三業一体」松本雄吉(維新派)ノ十月四日
- * 「小劇場に生きる制作」岡本康子(TRASH2)ノ十月十日
- * 「つながりを生きる」岩崎正裕(劇団 太陽族)ノ十月十一日
- * 「演出家の仕事、役者の仕事」深津篤史(桃園会)ノ十月十二日

「演出頭」キタモトマサヤ(遊劇体) 舞台編

キタモトさんのワークショップ。前半は講義。タイトルの真意は「俳優も演出頭を持つ」ということ。「俳優」と「演出」とのディスタンスで芝居を作っていくというキタモトさんは、「俳優は思想を持つことが大切」と熱弁。ここで言う「思想」とは、物事、世界、人間をどう見るかということ。俳優の思想と、演出の思想があり、ディスタンスを重ねて共同で作っていくことを示唆。キタモトさん自身の経験と実践から導き出された演出観、演劇観を熱く語っていただきました。

「演劇は人間を研究する学問である」という言葉が印象的でした。

後半は、泉鏡花作「夜叉ヶ池」を使つてのワークショップ。

まずはキタモトさん自身の作品解説付きの朗読。その後、受講生に役をふつての読み合わせ。キタモトさんは受講生一人一人に丁寧アドバイスをされました。

演劇は「思想」なしでは成り立たないということを肝に銘じる夜でした。

副講師：中村賢司(空の驛舎)

「少年王者館の作り方」 天野天街（少年王者館） 舞台編

概要

質疑応答を挟みながら、天野氏が考える演劇を淡々と（しかし熱く）語っていく講義形式のワークショップ。

内容

・「時間」と「空間」を微分

時間 空間を最大限に駆使し、ポストドラマクシヨンのなアプローチを演劇に施す際に、様々なツール（マルチメディア）を集結。演劇でしか表現できないものを作りだす姿勢には脱帽するしかない。

イメージの着床

箱男さんながらの状態で、睡眠と執筆を繰り返す天野天街氏は、無意識と意識の融合を目指す。覚醒状態で書かれたものは、「揮発性物質」のように消失すると懸念する天野氏は、事前に何かを確定してしまう事を忌み嫌う。

人間は物質

天野氏は、稲垣足穂の「感覚」を例に挙げ、人間を口と肛門で繋がった只の円筒に過ぎないと語る。言葉も時間も空間も役者も物質としてのツールと気付かされる。

根源的郷愁

天野氏の実家は、昔貸本屋を営んでいた。そこで幼少の頃に観た貸本マンガの背表紙に天野氏は自分の芸術的な根源を感じ取る。極彩色の「こちゃませ」シリーズといった貸本マンガの背表紙には、全てのツールを駆使して夢幻の世界を作り出す天野氏の「根源的郷愁」が秘められている。

全体の感想

今回、関西圏外から天野氏をお呼びした事は非常に良かったと思います。このように関西演劇界の現状を鑑みながら情報発信を根気強く行うこと、また企画実行力を実践的に身に付けていくことが、団体発展には欠かせないと思います。外部の目を取り入れる重要性に改めて気付かされました。今後もちつした活動が頻繁に行われる事を望みます。

副講師：伊藤拓 (rance_pan)

DIVE 演技演出ワークショップ

2008 の1報告

二 八年一月、会話劇の戯曲に触れ、分析読解し、体現してゆく過程を身につけていただけたらよろしく「DIVE 演技演出ワークショップ」2008」を開催しました。こちらの事業は昨年理事長の深津篤史が第一回目を行い、大変ご好評頂いた事業の第二回目となります。ワークショップでは珍しい発表公演つきの企画で、今回は二名の講師がそれぞれに二チームずつ編成し、計四篇の短く中編戯曲のワークショップを行いました。

また発表公演はアトリエS-space の『裸の劇場』の企画の一つとして発表させて頂きました。前回と異なる点は、劇場企画のコンセプトに沿って、照明 音響 舞台装置など、必要最小限に抑えた「素舞台」にしたことです。三週間ほどの短い期間でしたが、戯曲を読み、考え表現した俳優の身体を観ていただくことで、今回のワークショップの成果とさせて頂きました。

事業の概要は次の通りです。

アトリエS-space 1周年企画 裸の劇場

DIVE 演技演出ワークショップ 2008 発表公演

『Naked Eyes 』

監修：深津篤史（DIVE 理事長 桃園会）

講師 総合演出：中村賢司（空の驛舎）

講師：高橋恵（虚空旅団）

* 日時 一月二十六日（土）～二十七日（日）

* 会場 アトリエS-space

上演作品

『おいしいごはん』 作演出 高橋恵

出演 …… 森本洋史、中田絵美子

『日光浴』 作演出 中村賢司

出演 …… 辻本将哉、徳永正幸

『Night Work』 作演出 高橋恵

出演 …… 木田尚子、鶴丸奈都子、松中清美

『バードウォッチング』 作演出 中村賢司

出演 …… 黒河藍 高橋理紗 長谷川麻貴 守島麗子

以上

ＤＶＥ 演技 演出 ワークショップ 2008 参加者の言葉

以前からＤＶＥワークショップに興味がありました。が、チラシの「戯曲」が読めていますか？」の言葉が気になり、参加させていただきました。

一つの言葉を発するにもその人のいろんな背景があり、自分の表現したいことをはつきりとつかむのに苦労しました。そしてつかんだことを共演の方や、見てくださる方に伝えるには？と考え続ける日々でした。人物の背景を共演の方とも話したりして、しんどいけれど面白い日々でした。

いただいたダメ出しは、公演が終わった今も自分の中に静かに存在し、生活していくどこかで肥やしになってくれそうに思います。素晴らしい時間と空間を、ありがとうございます。

木田尚子

私は芝居経験が短くこのワークショップではじめて戯曲 会話劇といったのを体験したのですが、ワークショップで戯曲を読むという事の意味や考え方を教えて頂き、まずその難しさを思い知らされました。

でもそれを少しでも表現出来た時の面白さや奥深さを体験し、始めて出会ったこのジャンルのお芝居に今とても魅力を感じています。もっといろいろ知って勉強していきたいです。

本当にこのワークショップに参加出来て良かったです。有難うございました。

守島麗子

「戯曲をよむ」

ふと目にとまった言葉。

「戯曲をよむ」

私はどうなんやろ・・・よめてんのかな？

たしかに、過去、ある役の言動が本番が終わっても理解しきれなかったことがあった。

もちろん本番中も不安だらけだった。

あかんやろ。

と参加を決意。

意外とすんなり色んなことが自分の中に入ってきた。新たな見方も加わり引き出しがふえた感じ。

不安がなく板の上にとったのは初めてでした。

やはり舞台って面白い！

本当に参加してよかった！ありがとうございます！

長谷川麻貴

会 員 一 覧 (あいうえお順)

あうん堂 糾～あざない～ A 級 MissingLink
 劇団 Ugly duckling 劇団往来 オリゴ党 木嶋茂雄
 旧劇団スカイフィッシュ 金蘭座 銀幕遊学 レプリカント
 高級社 虚空旅団 千年枕 劇団そとばこまち
 空の驛舎 第2劇場 太陽基地アパッシュ
 劇団 太陽族 焚火の事務所 TSUJITSUMA ぷろでゅ～ず
 トイ・ガーデン 蝸螂襲 dracom 桃園会
 南船北馬 プロジェクト 170 Blue,Blue
 France_pan 間屋口克 水の会
 夢幻都市 - MusicalCity - 遊気舎
 遊劇体 演劇集団よろずや 龍の会

賛 助 会 員

江本雅朗 大西博樹 岡田幸博 岡本康子 小堀純 寺岡永泰
 畑律江 福本年雄 榊井政則 山口英樹 わかぎえふ

会 員 募 集 中

DIVEでは正会員・賛助会員をともに募集しております。
 正会員は月1,500 円の会費で年18,000 円(入会月から計算)。
 賛助会員は1年更新で一口10,000 円になっています。
 詳しい説明は、DIVE事務所(tel 06-6362-5266)までお願いいたします。

会計局よりお知らせ

現在会計局では協会費を未だ振り込んで頂いていない会員の方々に連絡を取り、
 入金を引き続きお願いしております。

DIVE運営を円滑に進めるためにも、どうぞ協力よろしくお願いいたします。

年会費 18,000 円(一ヶ月 1,500 円)

(不明な点がございましたら、DIVE事務局までご連絡下さい)

協会費未納金をお支払いいただいた皆様ありがとうございます。

その中で、劇団名以外でのお振込はこちらが確認できませんのでご注意ください。

銀行名	支店名	種目	口座番号	口座名義
三井住友銀行	城東 132	普通	1363887	大阪現代舞台芸術協会



地下鉄堺筋線・谷町線南森町駅・出口から徒歩五分

事務所に毎日人がいるわけではありませんので、来られる際は一週間ほど前にご連絡下さい。折り返し連絡させていただきます。

住所: 〒530 - 0047 大阪市北区西天満3 - 7 - 17 ラムール西天満 502 号

TEL&FAX 06-6362-5266 ホ - ムペ - ジアドレス <http://www.ocpa-dive.com/>

メールアドレス dive@r9.dion.ne.jp

編集後記

この度は、諸事情により会報の発行が大幅に遅れてしまい、関係者および加盟劇団の皆様には大変ご迷惑をおかけ致しましたことを心よりお詫び申し上げます。今後このようなことにならないよう、理事の体制を強化し、改善してゆきます。昨年の大阪市長に続き、年明けの選挙にて大阪府知事が交代しましたが、相変わらず大阪の小劇場を取り巻く環境はまだまだ予断を許さない状況が続くと思われれます。DIVEでの活動実績が少しでも大阪の演劇の普及につながりますよう、また皆様のご理解を賜りますよう、お手にとつてご覧頂けましたら幸いです。

(高橋恵)

大阪現代舞台芸術協会 DIVE 会報 第十七号

発行人 深津篤史

執筆者 中村賢司 伊藤拓 高橋恵 木田尚子 守島麗子

長谷川麻貴

地図製作 谷口アキロウ

編集人 高橋恵

二〇〇八年四月十日